

指定管理者評価シート

| | |
|------------|---------------|
| 評価年度 | 令和5年度 |
| 所管課(評価担当課) | こどもみらい部 発達支援室 |

1 指定概要

| | | |
|-----------|--|---------------------|
| 施設概要 | 名称 | 鎌倉市児童発達支援センター あおぞら園 |
| | 所在地 | 鎌倉市笛田二丁目38番20号 |
| 指定管理者 | 名称 | 社会福祉法人 県央福社会 |
| | 代表者名 | 理事長 柴田 琢 |
| | 住所 | 大和市柳橋五丁目3番地1 |
| 指定管理期間 | 令和3年4月1日～令和8年3月31日 (5年間) | |
| 指定管理業務の内容 | ①児童発達支援センターの管理運営に関する業務 ・児童福祉法第6条の2の2第2項に規定する児童発達支援に関すること ・児童福祉法第6条の2の2第6項に規定する保育所等訪問支援に関すること ・児童福祉法第6条の2の2第7項に規定する障害児相談支援に関すること ②施設及び設備の維持管理に関する業務 ③経営管理等に関する業務 ④自主事業の実施に関すること ⑤その他、市長が必要と認める業務 | |

2 施設の利用状況

(単位:人)

| 児童発達支援 | 開園日数 | 利用(契約)児童数 | 延利用児数 |
|----------|-----------|-------------|--------|
| | 242人 | 31人 | 5,593人 |
| 保育所等訪問支援 | 利用(契約)児童数 | 延利用児数 | |
| | 4人 | 48人 | |
| 障害児相談支援 | 障害児支援利用援助 | 継続障害児支援利用援助 | |
| | 6人 | 47人 | |

3 収支の状況

(単位:円)

| | | |
|------|--------|--------------|
| 収入 | 指定管理料 | 65,105,000円 |
| | 利用料金収入 | 729,400円 |
| | 自主事業収入 | 10,743円 |
| | その他収入 | 93,977,071円 |
| | 小計 | 159,822,214円 |
| 支出 | 人件費 | 91,811,058円 |
| | 光熱水費 | 2,801,778円 |
| | 修繕費 | 424,765円 |
| | 事務費 | 39,421,708円 |
| | その他経費 | 13,412,905円 |
| | 小計 | 147,872,214円 |
| 収支差額 | | 11,950,000円 |

4 評価

| 項目 | 評価内容 | 評価 | |
|--------------|---|-----------|---|
| | | 指定 管理者 | 市 |
| 運営方針 | ① 市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し、運営されているか。 | ○ | ○ |
| | ② 人権施策に対する理解がされているか。 | ○ | ○ |
| 基本的事項 | ③ 月次報告書やその他の提出物は遅滞なく市に提出されているか。 | ○ | ○ |
| | ④ 法令等で定められた書類が適切に作成され、関連機関に遅滞なく提出されているか。 | ○ | ○ |
| | ⑤ 市、関係団体との連絡調整を適切に行っているか。 | ○ | ○ |
| | ⑥ 情報公開、個人情報保護への取り組みは確立されているか。 | ○ | ○ |
| | ⑦ 文書管理が適切になされているか。 | ○ | ○ |
| 法令、協定書等の順守 | ⑧ 関係法令、協定書等が遵守されているか。 | ○ | ○ |
| | ⑨ 提案した事業計画の内容は適切に実施されているか。 | ○ | ○ |
| 安全対策及び危機管理 | ⑩ リスクに対して適切な範囲内で保険に加入しているか。 | ○ | ○ |
| | ⑪ 防犯、防災、事故防止のための対策が確立し、安全への配慮がされているか。 | ○ | ○ |
| | ⑫ 事故発生時や非常災害時の対応は適切であったか。 | ○ | ○ |
| | ⑬ 利用者の安心、安全な施設利用に関する研修、訓練は実施されているか。 | ○ | ○ |
| | ⑭ 事故、災害その他の緊急事態が発生した場合の市との連絡体制が明確化されているか。 | ○ | ○ |
| 職員配置及び実施体制 | ⑮ 職員（常勤職員、非常勤職員）の配置執行体制は適当か。 | ○ | ○ |
| | ⑯ 管理運営及び業務に必要な有資格者を必要数配置しているか。 | ○ | ○ |
| | ⑰ 労働法規等を遵守した適切な労働環境が確保されているか。 | ○ | ○ |
| | ⑱ 職員研修体制を整え、知識の向上、人材育成に努めているか。 | ○ | ○ |
| 施設の管理運営、維持管理 | ⑲ 再委託等の契約関する事務は適切に行われているか。 | ○ | ○ |
| | ⑳ 再委託事業者から適切に事業報告をさせるなど、再委託業務を適切に管理しているか。 | ○ | ○ |
| | ㉑ 管理運営において必要な日誌、記録等をつけ、管理責任者等の確認後適当に保管されているか。 | ○ | ○ |
| | ㉒ 備品及び消耗品は適切に管理されているか。 | ○ | ○ |
| | ㉓ 利用者が安全・安心かつ快適に過ごせる環境が保持されているか。 | ○ | ○ |
| | ㉔ 環境に配慮した取り組みが実施されているか。 | ○ | ○ |
| 自主事業 | ㉕ 自主事業の実施状況は適切であるか。 | ○ | ○ |
| 情報発信 | ㉖ 利用者、保護者への適切な情報提供や市民に対する施設の紹介は適切に行われているか。 | ○ | ○ |
| 利用者意見の把握及び対応 | ㉗ 利用者、保護者の意見、要望、苦情等の受付体制を確立し、適切に対応が行われているか。 | ○ | ○ |
| | ㉘ 利用者、保護者からの意見を聴取し対応する体制を講じ、その結果を業務に反映させているか。 | ○ | ○ |
| 施設経営の適切な執行 | ㉙ 指定管理料は、適正に執行されているか。 | ○ | ○ |
| | ㉚ 収入と支出のバランスは適正か。指定管理者の経営状況に問題はないか。 | ○ | ○ |
| | ㉛ 経費縮減のための努力が行われているか。 | ○ | ○ |
| 連絡調整体制の整備 | ㉜ 指定管理者と市がお互いに協力し、施設の有効活用が図られたか。 | ○ | ○ |
| | ㉝ 地域や関係団体等との連携や協働は図られたか。 | ○ | ○ |

| | | | |
|------|-----------|-------------|-----------|
| 適否基準 | 「○」：適切である | 「△」：概ね適切である | 「×」：適切でない |
|------|-----------|-------------|-----------|

5 利用者意見の把握及び対応

指定管理者が実施した保護者アンケートの結果

| | | |
|--------------------------|--|-----------------------------------|
| 保護者アンケートの実施内容 | 調査方法 | R5.6.20-6.27実施 |
| | 回答者数 | 利用者数(利用家族数)30(27)名 回答数20名(回答率74%) |
| | 質問項目 | 別紙のとおり |
| 調査の結果 | 別紙のとおり | |
| アンケート調査の結果得られた 主なる意見等 | <p>あおぞら園の環境、運営について(R5.6.20-6.27実施)</p> <p>①あおぞら園の設備についてどう思われますか。 建物全体が古く暗い印象。冬は寒く、夏は暑いため 子どもの服装も悩んでしまいます。</p> <p>②あおぞら園の遊具等についてどう思われますか。 滑り台とブランコのみしかなく、少し寂しい感じ です。</p> <p>③玄関や下駄箱、療育室等の環境についてどう思われますか。 広いのがよいです。冬は玄関周辺がかなり寒いです。</p> <p>④職員の子どもへの対応についてどのように思われますか。 いつも丁寧に優しく接していただき、安心して預けさせてもらっています。</p> | |

6 総合評価

指定管理者による自己評価

| |
|---|
| <p>(事業実績の評価と改善の取り組み)</p> <p>・TEACCHプログラムを支援に取り入れ、利用児の強み(ストレンクス)を発見し、それを育て、社会の中で自信ある行動ができるよう、わかりやすい指示の提示と、利用児の発達状況に合わせた療育を展開しました。</p> <p>引き続き、横浜発達クリニックの佐々木先生にスーパーバイズをお願いしました。肢体不自由児クラス以外の3クラスで個別スケジュールの導入、個別課題の実施、部屋の構造化を行いました。子どもの理解や自立的な行動に繋がらないこともあったため、アドバイスをいただきながら再構造化を行いました。また、子どもへの視点の再考も含め、丁寧に園全体で取り組み専門性を高めました。</p> <p>去年度から、引き続き、全職員で子どもについて検討するケース会議日を設けました。子どもへの理解を深めるとともに、職員が子どもに対してどのように支援を組み立てているのかを知るように、自閉症の特性理解も含め、行いました。</p> <p>・ムーブメント教育を取り入れ、児童の個の発達、活動性や集団行動を獲得するために、児童の自主性、発達性を尊重しながら、子ども自身が動くということを学び、その動きを通して、思考性そして感受性の発達を促す療育をしました。</p> <p>また、引き続き、隔週で「全体活動」と題してムーブメントプログラムを実践し、4クラス合同で実施することができました。子どもたちが全体の動きや他の子どもたちを意識して動くようになるなど、人への意識を高められた1年でした。今後の課題としては、職員一人ひとりが専門性をもって児童を評価し、柔軟にかかわっていくことが、今後の課題です。</p> |
|---|

施設設置者(鎌倉市)による評価

| |
|---|
| <p>(年度評価所見と評価結果に対する今後の対応)</p> <p>1 指定管理者制度3年目となったが、継続して市と協力し合い、施設利用者へのサービスの質の向上に努めたことを評価します。</p> <p>2 協定にある業務について、着実に遂行したことを評価します。</p> <p>3 あおぞら園と保育園の併行通園にかかる送迎サービスなど、働く保護者への支援に積極的に取り組んだことを評価します。</p> <p>4 利用児ごとに異なる発達過程や行動の様子に応じ、丁寧な個別支援を行い、医療的ケア児への適切な支援体制を整え対応していることを評価します。</p> <p>5 引き続き、専門職による専門的支援の継続実施と、鎌倉市の児童発達支援センターとしての機能を活かした運営実施を期待しています。</p> |
|---|